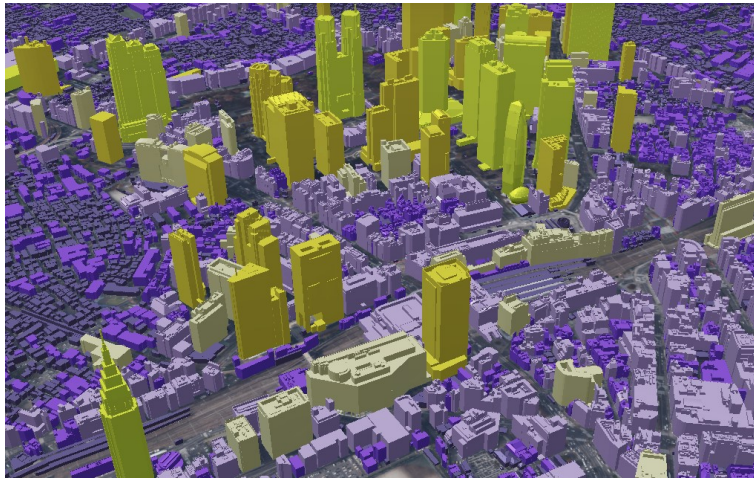


- スマートシティのデータ基盤として、建物などの都市空間をサイバー空間上で3次元的に再現する「3D都市モデル」の整備とこれを活用した社会課題の解決（ユースケース開発）の実証実験を実施。
- 実証実験では、都市計画・まちづくりや防災対策の高度化、多様な都市サービスの創出等を実証し、スマートシティの社会実装を加速化。

## 3D都市モデルの整備

建物などの3次元形状や面積・用途・構造等の属性情報をデータ化。



3D都市モデルのイメージ（新宿駅周辺）

## 3D都市モデルのユースケース開発

### カメラ、センサー等の新技術を活用した都市活動の可視化

- ✓ コロナ対策としての「3密」状態のモニタリングやまちなかの回遊状況の把握・賑わい創出への活用

### 災害リスク情報の可視化を通じた防災政策の高度化

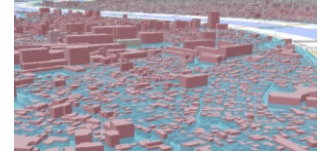
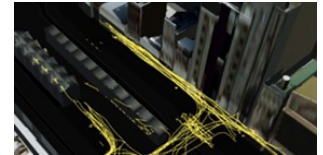
- ✓ 洪水等の災害ハザード情報を3D化し、防災意識啓発や防災計画検討に活用

### データを活用したまちづくり・都市開発の高度化

- ✓ 都市構造の立体的把握、開発計画のシミュレート、都市の課題の可視化等により、スマート・プランニングを推進

### 3D都市モデルを活用した民間サービス市場の創出

- ✓ まちづくり、インフラ管理からエンタメ、コミュニケーションに至るまで多様な分野で市民のQoL向上に資するウェブ・アプリを開発



## <令和2年度の取組み>

- 全国約50都市の3D都市モデルを作成し、オープンデータ化
- 3D都市モデルの整備手法を確立するとともに、ユースケースを実証し、活用事例集等の各種マニュアルを公開

## <令和3年度以降の取組み>

- データ整備の効率化・高度化の推進や自治体関係者等への普及啓発
- スマートシティの社会実装に資する高度なユースケースを実証